

I. 学科別履修指針

◎ メディアデザイン学科カリキュラム系統表

カリキュラム系統表はメディアデザイン学科のすべての科目を網羅したもので、授業科目の分類分けと開設期が示されています。文理横断的なカリキュラムと実践的な教育手法を通じて、未来を切り拓く知識・スキル・行動力を身につけるため、4つの科目群、「修学基礎教育科目」「外国語教育科目」「工学基礎教育科目」「専門教育科目」によって教育課程を編成しています。「修学基礎教育科目」は日本語によるコミュニケーション・スキルの向上を目指す科目とアジア・ヨーロッパの社会研究および体育実技等の科目群で構成されています。「外国語教育科目」は英語によるコミュニケーション・スキルの向上を目指します。「工学基礎教育科目」はコンピュータの基礎知識や操作法、技術者の職業や情報倫理に関する社会性の高い科目群です。「専門教育科目」は専門教育の名前が示すとおりメディアデザイン学科の幹となる科目群で、共通科目・デザイン系科目・コミュニケーション系科目・ソフトウェア系科目に小分類されています。

◎ 学部共通科目と学科共通科目

学部共通科目は、皆さんがメディアデザインを学ぶ上で必要な科目でありながらも、専門教育科目の枠の中には収まらない科目です。修学基礎教育科目・外国語教育科目・工学基礎教育科目群の中の多くの科目がこれにあたります。これらの科目群の科目はメディアデザイン学科、人間社会学科においておおむね共通したカリキュラム編成となっています。

メディアデザイン学科の専門教育科目には3つの専門科目系がありますが、もう一つ、これらの3系列に共通した科目を集めた共通科目という分類を設けてあります。ここに含まれる科目群には、コンピュータを科学的に理解するための基礎知識を学んだり、授業で学んだ知識の理解を国家試験問題で試したりする科目などが含まれています。また、技術者の職業や知的所有権に関する社会性の高い科目が開講されています。

◎ メディアデザイン学科の専門教育科目

「専門教育科目」は、それぞれの専門領域分野に関わる専門知識とそれに関わる技術を幅広く深く究めるための科目です。メディアデザイン学科の「専門教育科目」は、総合的な視点からメディアデザインを深く学ぶために、3つの系に分かれたカリキュラム構成になっています。この3分野から学生諸君はデジタルコンテンツデザインを総合的に学んでいきます。また、この3つの系に共通する基礎科目として「専門教育科目」の中に共通科目系があります。

1. デザイン系

世界の秀逸なデザイン手法を学ぶデザイン論、色彩の作用を理解する色彩学、そして表現力を磨くデッサン、あらゆる製品をできるだけ多様なユーザへの対応を計画するユニバーサルデザイン論など、デザインに関する知識と感性を研究しながらクリエイターとしての幅広い視野を身につけるための科目系です。

2. ソフトウェア系

メディアデザイン学科の大きな特徴として、実際に制作する豊富な演習があります。企業で主に使用されているソフトウェアの技術を徹底して磨くことができます。コンピュータ（特に、ソフトウェア基盤技術）の科学的な理解に基づいて、高機能で信頼性の高い先進的な情報システムや科学技術応用製品をデザインし、実際にソフトウェアを開発する能力を身につけるための科目系です。

3. コミュニケーション系

バーチャル世界のデジタルメディアとコミュニケーションに関する能力を磨きます。デジタルコミュニケーション・プレゼンテーション・文化論・視覚心理学などの視点から自らの能力をしっかり身につけ「いかにわかりやすく伝えるか」を基本理念とする新しいコミュニケーションのあり方を身につけます。また、メディアをとおしたプレゼンテーションのできる企業の即戦力を育成するための科目系です。

◎ 卒業条件と進級条件

以上述べた科目系から皆さんの興味や必要性に応じて科目を選択して履修することになりますが、その際の重要な注意事項を述べておきます。

- ① 卒業するためには卒業条件を満たさなければなりません。特に、カリキュラム系統表に記載されているように、一部の科目は必修科目となっているので、卒業するためには必ず履修し、試験に合格して単位を修得する必要があります。

卒業条件

すべての必修科目を含めて、合計 124 単位以上修得していること。

- ② 進級するためには、次に述べるような進級条件があります。ここで規定された単位数以上を修得していなければ、留年（同一学年をもう一度繰り返す）となります。

進級条件

2 年生への進級：30 単位以上

3 年生への進級：60 単位以上

4 年生への進級：100 単位以上

しかし、この進級基準は進級するための最低単位数であり実際には、次のような単位数を目標に修得していかなければ、順調に 4 年間で卒業できなくなる恐れがでてきます。

単位修得目標

2 年進級時：38 単位以上

3 年進級時：74 単位以上

4 年進級時：108 単位以上

◎ 情報関連の資格への対応

メディアデザイン学科の教育カリキュラムは、情報処理技術・画像情報技術に関する多くの資格取得に対応しています。本学科と関連の深い代表的な資格を以下に示します。

★情報処理技術者試験は経済産業省認定の国家資格試験です。国内最大規模の最も信頼度の高い情報処理試験に合格してはじめて取得できるものです。この資格は専門性に応じて細分化され平成 21 年度から試験区分が一部変更になっています。メディアデザイン学科在学中に十分取得可能なものとして、IT に携わる職業人が持つべき情報技術に関する基礎的知識を認定する IT パスポート試験（レベル 1）、高度 IT 人材となるために必要な基礎知識・技能を認定する基本情報技術者試験（レベル 2）、および高度 IT 人材となるために必要となる応用的知識・技能を認定する応用情報技術者試験（レベル 3）があります。

（問合せ先） 独立行政法人情報処理推進機構 <http://www.ipa.go.jp/>

★CG エンジニア検定は文部科学省認定のコンピュータグラフィックス (CG) 関係の公的資格です。受験者は専門職ばかりでなく、営業や事務など一般職の人まで幅広い層に拡大しています。デザインと技術の両面から出題されます。CG エンジニアとしての活躍の場を、大きく広げてくれる資格です。

(問合せ先) CG-ART 協会検定実施センター <http://www.cgarts.or.jp/>

★Web デザイナー検定は CG エンジニア検定と同じ機関が実施している検定試験です。各種 Web サイトのデザインにおいて、一定の条件のもとに、企画・プレゼンテーション・制作・テスト・評価運用の知識を用いる能力が求められます。

(問合せ先) CG-ART 協会検定実施センター <http://www.cgarts.or.jp/>

★マルチメディア検定は CG エンジニア検定と同じ機関が実施している検定試験です。マルチメディアクリエイターをめざす人の登竜門ともいえる人気資格のひとつです。デザイン、要素技術、システム、およびメディア社会論に及ぶ広い知識とスキルが要求されます。

(問合せ先) CG-ART 協会検定実施センター <http://www.cgarts.or.jp/>

メディアデザイン学科教育課程表を見てください。メディアデザイン演習 (I~IV) の必修科目は、それぞれの授業の中で、これらの資格試験に関係する試験において過去に出題された問題を解きながら復習し、より深く、より確実に学習する演習科目です。

◎ 資格試験合格による単位認定

資格試験に合格すると、指定された科目の単位を認定することができます。

詳しくは、ガイダンスや関連の授業で説明します。

◎ 教員免許のための教職課程の履修

メディアデザイン学科のカリキュラムとあわせて教職課程のいくつかの科目群を履修することによって、高等学校教諭 1 種免許状「情報」を取得できます。

この免許を取得したい人は、メディアデザイン学科教育課程表に記載されている科目コードの欄に情 (または 情) と印がついている科目群 (これを、「教科に関する科目」といいます) から 36 単位以上を修得する必要があります。特に、*、情 と書かれている科目は教員免許を取得するためには必修となっているので必ず修得しなくてはなりません。*、情 の科目の中には 1 年次前期に開講されるものもありますので注意してください。

その他に、「教職に関する科目」と呼ばれる科目を修得する必要がありますが、これらの科目群は別途、「教職課程」と呼ばれるカリキュラムの中で開講されます。詳しくはこの中の教職課程に関するセクションを読んでください。2 年次が開始してすぐに教職に関するガイダンスが実施されるので、必ず出席して内容を確認して履修してください。

◎ 進路に合わせた履修

ここで、履修のしかたについて少し述べます。メディアデザイン学科のカリキュラムでは、1 年次は「色彩学」、「コンピュータ・グラフィックス入門」、「デッサン」などを学びデジタルコンテンツをデザインする基礎を養います。基礎的な科目が多いので、分野にかかわらず、無理のない範囲で履修するのがよいでしょう。2 年次前期はメディアデザイン学に共通な専門知識を学びます。メディアデザイン学に関する知識・技術を総合的に理解しておく必要がありますので可能な限り履修することが必要です。また、自分が 3 分野のどれが得意分野であるかを把握しましょう。2 年次後期・3 年次は、実践的な科目が多数用意されていますので、一つあるいは複数の専門分野について重点的に学修することが望めます。

カリキュラムにおいて、2 年次からは専門的な開講科目数が増えてきますので、自分の進路や興味に応

じて、適切な科目を履修しましょう。卒業研究のための配属先のゼミで必要とされる科目も、事前に関係のある先生に尋ねてみるとよいでしょう。

メディアデザイン学科では、将来の就職先として、Web デザイナー、CG クリエイター、イラストレーター、ゲームクリエイター、システムエンジニア等々、多様な仕事を選択肢として考えることが出来ます。このような仕事を視野に入れてデザイン、コミュニケーション、ソフトウェアの3つの科目系を総合的に修得することで、近未来の IT を基幹技術とするデザイナーを育成します。この3つの科目系を履修時に拘束するものではありません。選択科目は個人の責任のもとでの自由選択となりますので1年次より自分の将来を見据え、自分が専門のどの科目系を重点的に勉強しようとしているのか資格取得等を踏まえて選択する必要があります。積極的な学修姿勢が強く要求されることとなります。

メディアデザイン学科では、さまざまな分野の専門知識を学ぶことができ、個々人の学修意欲によって多くの学ぶ機会が与えられます。

◎ 詳しく知りたいときや困ったときは

それぞれの科目の内容についての概略は「授業計画書（シラバス）」に書かれています。もっと詳しいことが、インターネットのホームページに掲載されているかもしれません。メディアデザイン学科では、さまざまな情報をネットワークをとおして、できるだけわかりやすい形でみなさんに公開していきます。

勉強上でわからないことや困ったことがあるときは、自分のクラス担任の先生か、メディアデザイン学科の教務委員となっている先生にいつでも相談してください。たとえば、単位の修得が思うようにいかず、留年しそうで不安になってきた場合には、迷わず相談すべきです。また、経済的な理由で就学が困難になってくる場合などは、やはりできるだけ早く相談することで解決できるかもしれません。